

てんき

あした天気になあれ33



2024(令和6)年度「こころあったか(人権)ポスター」最優秀作品

やまおか ことこ
稲美中学校3年 山岡 琴子さん

稲美町教育委員会



第1回 稲美町

こころあったか
人権フォト・コンテスト

入選作品発表

稲美町教育委員会人権教育課では、あったかい人間愛あふれる写真を広報いなみ7月号等で募集しました。ご応募いただきましたみなさま、ありがとうございました。

作品
テーマ

あったかい人間愛
やさしさ、思いやり、きずな、喜び、感謝など
人や社会を大切にすることをひろげましょう

令和6年度
募集要項はこちら
▼町ホームページ



最優秀賞



「円」 渡邊 カリンさん

優秀賞



「姉妹でにっこり」 松尾 あかりさん



「長寿を願って」 山口 剛さん



「きずな強く仲間達」 武田 治さん



「ママ~~こわい~~」
中村 康香さん



「祖母とおしゃべり」 川守 真央さん

「インターネット社会における部落差別と人権」

人権啓発ビデオ「大切なひと」

企画：兵庫県・(公財)兵庫県人権啓発協会

令和6年度、多くの自治会「ふれあい学習会」(4ページ参照)で視聴していただいたビデオ教材を紹介し、人権教育課ではより多くの方々に鑑賞していただきたく、貸し出しを受け付けております。ご利用はページ下部、人権教育課までご連絡ください。

あらすじ*****

大学生の愛依(めい)は、友人で日本史が大好きな大哉(ひろや)が、投稿サイトに歴史紹介動画をアップするのを楽しみにしている。あるとき大哉は再生回数を増やしたい思いに駆られ、偶然訪れたかつての被差別部落を過激に編集してしまう。再生回数が増えたのを喜ぶ大哉。

しかし動画に映っていた家は、愛依が小学生のころ本当の家族のようにかわいがってくれた綾女(あやめ)おばちゃんの家だった。差別をあおる動画を削除してほしいという愛依の思いに、大哉はすぐに動画を削除するが、すでに拡散され削除不能状態に陥っていた。さらに削除することを不快に思う不特定フォロワーから大哉への誹謗中傷が殺到する。ネット社会の怖い一面を体験した大哉は軽率な行動を深く反省する。

その夜、愛依は母から綾女と連絡がつかないと聞き、不安に駆られていた。愛依は過去のある出来事をきっかけに、綾女とはもう長らく会っていなかった。

12年前、幼い愛依が綾女にしてしまったある出来事とは……



出演：山口まゆ 長内美那子ほか

視聴のポイント*****

ネット社会の危うさ

現代社会においてインターネットは利便性が高く、多くの方が利用しています。しかしSNSや掲示板などの利用にあたっては、不注意で加害者にもなり、思いもよらず被害者にもなる危険性があります。

「表現の自由」の名のもと、SNS上で特定の個人や団体、地域に対して差別的な書き込みやプライバシーの侵害を行なった場合、民事訴訟だけでなく、名誉棄損罪や侮辱罪などの刑事罰となっており、経歴に残る場合もあります。一度SNSに投稿したら、完全に削除することはほぼ不可能です。投稿前に今一度、相手や読み手に配慮する習慣をつけましょう。

SNSの投稿はくれぐれも慎重に

差別を助長する情報を閲覧しない

インターネット上で部落差別に関する誤った情報や偏見・差別をあおる情報に接することにより、差別意識を植え付けられる可能性がないとは言えません。正しい情報源から正しく学ぶことが大切です。

稲美町教育委員会人権教育課 電話 079-492-2550

地域で学ぶ「ふれあい学習会」

「21世紀は人権の世紀」と言われ、早24年が経過しようとしています。しかし世界でも日本でも様々な人権侵害事象が後を絶ちません。また時代と共に新たな人権課題も生まれてきています。

稲美町では各自治会で「ふれあい学習会」を開き、人権啓発ビデオを視聴するなどして、人権課題を学び直す機会としています。

ふれあい学習会を訪問しました



【7月27日金守】



【11月3日大沢】



【11月23日蛸草】

◇人権啓発ビデオ「大切なひと」視聴後の意見・感想(一部抜粋)◇

- 今は子どももSNSをやっている。部落差別は、知らなければなくなるかもしれないが、きっと誰かが教えるだろう。自然にはなくなる。
- 孫とSNSをしている。憲法に保障されている人権を侵害しないよう気をつけている。
- 差別は優越感を持ちたい気持ちから生まれる。他人事ではなく自分事だと思う。
- 「いいね」をもらうため、また売れば何でもよいという無責任な姿勢が問題を大きくしている。
- 昔ならうわさ話は時が過ぎれば消えるが、SNS投稿は消そうと思っても消えない。
- かつての同和地区に仲のよい友人がいる。住んでいる地区の問題ではなく、個人の問題と考えれば部落差別はなくなるはずだと思っている。

稲美町ふれあい学習会(住民学習会)のあゆみ

- 1971(昭和46)年度 各自治会年間1回の同和学習会が推進される。当時、全世帯数4,234の内、1,408名の参加があった。
- 1973(昭和48)年度 自治会単位で年間10回の同和学習会が開催される。
- 1974(昭和49)年度 年間5回開催になる。1978(昭和53)年度以降は、年間2回の開催。
- 1979(昭和54)年度 このころ、同和問題にかぎらず日常生活のなかにある諸々の差別や非科学的な考え方など、学ぶ人権課題の範囲が広がる。
- 1989(平成元)年度 現在のふれあい学習会となり、各自治会で年1回開催となる。
- 2023(令和5)年度 コロナ禍で自治会実施率が一時落ち込んだが、94.8%まで回復した。

自分たちが「今」できることは何か？ ～稲美中学校生が能登へ～



学校運営スローガン ◇つながる人 つながる心 つなげる夢・未来◇
自分だけではなく誰かのために行動できる人づくり、学校づくりを地域と共に！

1月
January

令和6年1月1日に発生した地震により、能登半島は甚大な被害を受けました。
そこで稲美中学校生徒会は、私たちに今できることはないか考え、被災地の支援を目的として募金活動を行いました。



コープ稲美店前で
稲美中学校・稲美北中学校
社会福祉協議会による
募金活動

8月
August

能登半島災害復興ボランティア教育プログラムに参加

6日(火)～8日(木)

*** 事前に調べたテーマ ***

- ・なぜ町の復興がこんなに遅れているのか
- ・災害関連死がなぜ多いのか
- ・和倉温泉の復興の遅れについて
- ・のとじま水族館の早期再開について
- ・災害ボランティアセンターの役割について

■ 行程表

- 【1日目】
・和倉温泉 宿泊
- 【2日目】
・珠洲市でボランティア活動
・和倉温泉観光協会 お話を聴く
- 【3日目】
・のとじま水族館 お話を聴く
・金沢散策

知 る



珠洲市にて、目で見て、心と身体で感じることができました。



のとじま水族館 展示物



珠洲を応援します
がんばれ！すず
令和6年8月7日水
珠洲市社会福祉協議会 災害ボランティアセンター

学 ぶ



当時の様子を現地の方に聴きました。
地震の恐ろしさや身を守る方法、能登の現状を学ぶことができました。

想 う



活動後、文化芸術部が制作した絵手紙を渡し、「ふるさと」を歌いました。現地の方の笑顔を見ることができてよかったです。

つ な がる



ボランティアセンターの方の「ボランティア活動をするときは楽しんでください。」という言葉が印象に残りました。

伝 える



事後の活動として、稲美町・稲美町教育委員会関係者へ報告会を行いました。能登の現状をより多くの人に伝えていきたいです。

大切なのは「人」

私は今回能登半島へボランティアに行って、実際に足を運んだからこそ感じられたことが沢山ありました。現地に向かう途中、道路に亀裂があったりガードレールが曲がっていたりと、被害の大きかったところに近づくほど地震の恐ろしさがよく分かり、驚きと不安でいっぱいでした。実際にボランティアに行くと、地元の人だけでなく、遠いところから来ている人もいました。そして一番印象に残ったのは現地の方のあたたかい笑顔です。ボランティアに参加している人も、家主の方も辛いことが沢山あったはずなのに、優しく接してくださり、こちらまで笑顔になれました。それだけでなく、旅館の方も親しみやすく話しかけてくれる人ばかりで、色々な人が震災の時の話を詳しくしてくださりました。「メディアで取り上げられなくなったことで、能登を忘れられてしまうことがいっばん怖い。」この言葉を聞いて、私たちが伝えていかなければいけないと感じました。

復興に大切なのはまず「人」と教えていただいたので、たくさんの人に石川の苦しみだけでなく、これを機にいいところもたくさん知ってもらえるよう、伝えることを大切にしていきたいと感じます。

現地に足を運んで、実際に見て声を聞いて肌で感じたことで得られたものが沢山ありました。改めて貴重な体験をさせて頂き本当にありがとうございました。



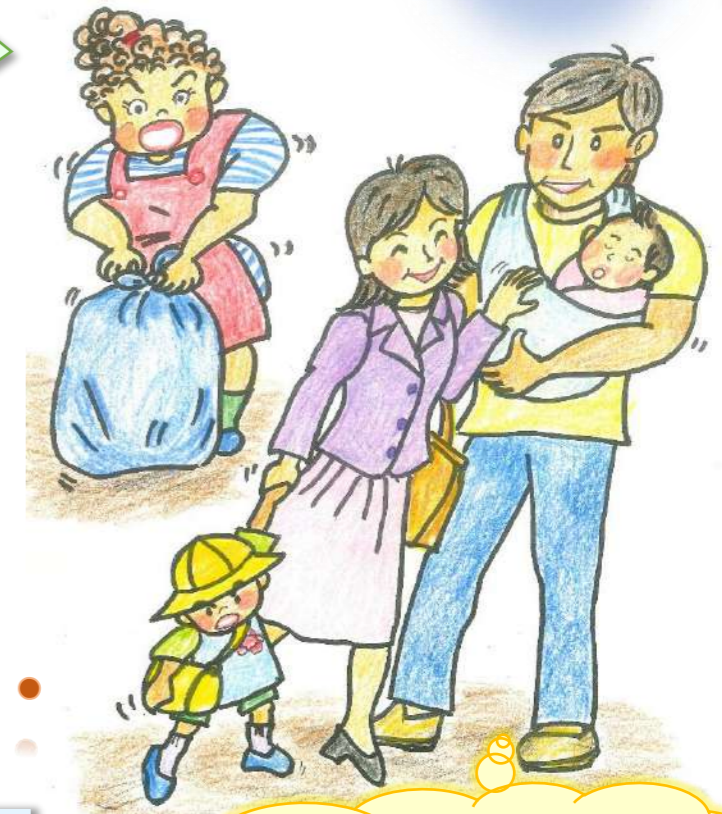
稲美中学校3年
あすみ
辻本彩純

障害があるのに
がんばってるね



障害のあるなしは
仕事と
関係ありませんよ

男なのに育休とって
えらいわ~



無意識のうちに相手を 傷つけていませんか

マイクロアグレッションとは...

人を傷つけるつもりはなくて、むしろほめる気持ちで言ったのに、相手にとっては不快に思う言動があります。これがマイクロ(小さな)アグレッション(攻撃)と言われるものです。

小さな攻撃が続くことによって、言われ続けた人の傷口が広がり、結果として信頼関係を損なうことにつながりかねません。「意図的に傷つける差別」とはちがひ、「無意識のうちに傷つける行為」がマイクロアグレッションです。もしそれに気づいたら関係を修復できるかもしれません。

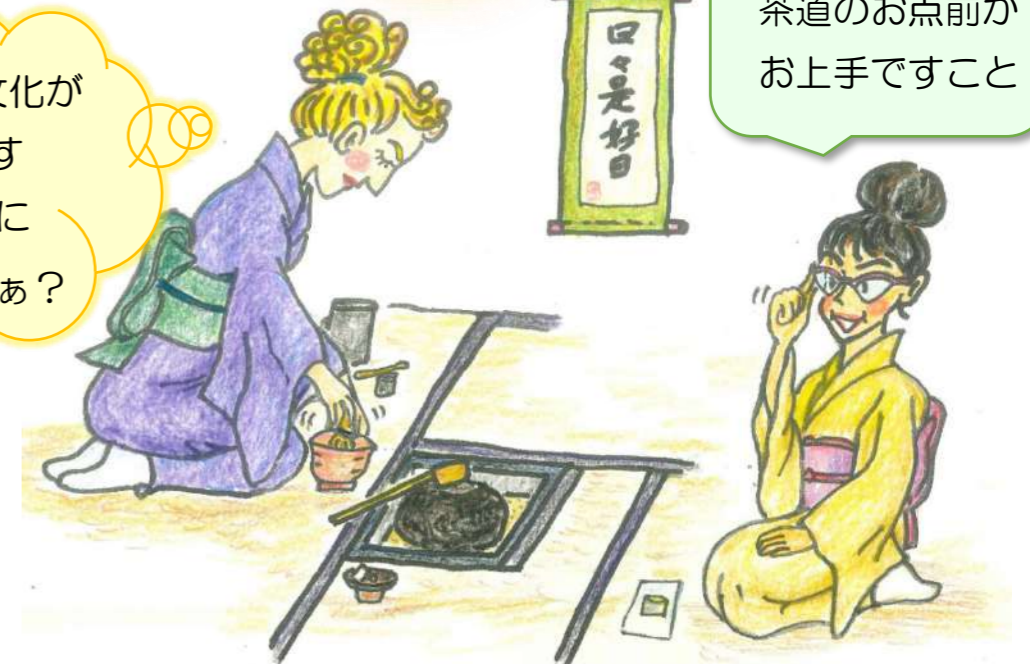
僕はただ妻といっしょに
子育てしたいだけなのに

いつもそんな目で
見られているのかしら



先生、今日のオペは
カンペキでしたね
男性の先生も
顔負けですよ

私、日本の文化が
大好きです
どうして外国人に
こだわるのかなあ?



外国人なのに
茶道のお点前が
お上手ですこと

2024(令和6)年度 心ころあったか人権標語

いちど い ことば
一度きり 言った言葉は もどせない

加古小学校4年 おりと はな
居戸 初奈

はな いろ じぶん むげんしよく
華の色 自分らしさは 無限色

稲美中学校2年 はしの この
橋野 瑚乃

だいじょうぶ
大丈夫 みんなきみの みかただよ

母里小学校3年 あさ ゆうな
阿佐 優奈

あなたもね だれかにとっては たからもの

稲美北中学校1年 いしかわ しき
石川 詩稀

し さべつ いっぽ
知ることが 差別をなくす 一歩だよ

天満小学校6年 さとう あんり
佐藤 杏綾

ゆうき きみ いっぽ せかい か
その勇気 君の一歩が 世界を変える

兵庫南農業協同組合天満支店 ふじわら なおこ
藤原 尚子

も だいじ けんり きげん
持っている 大事な権利に 期限なし

天満南小学校6年 おおにし そういちろう
大西 聡一郎

すこ ま かんが なお か なお
少し待ち 考え直し 書き直す

明石機械工業(株) いのうえ しんのすけ
井上 心之介

たいせつ ひと ひと いのち
大切な 一つのかがやき 一つの命

天満東小学校5年 とよた さくら
豊田 さくら

おも ひとりひとり ささ あ
思いやり 一人一人が 支え合う

みなと銀行稲美支店 ほりえ ゆずき
堀江 柚樹

だいじょうぶ ひとり
だいじょうぶ 一人じゃないよ みんながいる

天満東小学校6年 たはら ゆの
田原 結乃

たようせい
多様性 ひとりひとりを リスペクト

(株)ADEKA 明石工場 よしだ なおと
吉田 直人

2024(令和6)年度 ころあったか人権作文優秀賞

主催：稲美町人権・同和教育研究協議会

稲美町内小・中学校から、たくさんの「ころあったか人権作文」が寄せられました。
そのなかで優秀賞に選ばれた作文は、つぎのとおりです。

「障害をもっている人の人権」	加古小学校 6年	にしかわ 西川	きょうか 杏歌	さん
「恐ろしい いじめ」	母里小学校 6年	おおつじ 大辻	しゅうへい 修平	さん
「多様性を受けいれる世界へ」	天満小学校 6年	いいた 飯田	ゆうり 優里	さん
「あいさつをすれば」	天満南小学校 6年	まえだ 前田	けいた 啓汰	さん
「みんなちがって みんないい」	天満東小学校 6年	よしもと 吉本	はなの 華乃	さん
「思いやりで心を繋ぐ」	稲美中学校 3年	とっとり 鳥取	かすみ 佳純	さん
「忘れてはいけない 過去からのメッセージ」	稲美北中学校 3年	やまもと 山本	あさひ 朝陽	さん

受賞作の中から、天満東小学校 6年 吉本 華乃 さんの作文を紹介します。

みんなちがって みんないい

天満東小学校 6年 吉本 華乃



みなさんは、体の中で何か不自由なことはありませんか。

私は、不自由なことがあります。それは、片方の耳が聞こえません。みなさんは、両方聞こえるのがあたりまえやろと思っている人が多いと思います。私は、他の人を見て「耳が両方聞こえてとてもうらやましいな。」と思うことがあります。「どう

して自分だけ聞こえないのかな。」と思い、心が痛むこともあります。私は、不自由になりたいくてなったのではありません。生まれつきです。

他にもみなさんとちがうことがあります。それは首の骨が1本多いことです。だから首をまっすぐにすることができません。でも習い事で、「首をまっすぐ。」

と言われますが、私にはまっすぐすることができず、「したいけど、できないのに……。」と心が痛くなって悲しい気持ちになったことがあります。

あと、右手の親指が少し小さくて、曲げることができません。なので、力が入らず鉄棒などもうまくできないことが多いです。親指が曲がらないので、鉄棒をしっかりとにぎることができず、体育のときなどに、「親指を曲げて。」

と言われて、どう曲げたらいいのかと思いました。みんなの「あたりまえ」は、私にとっての「あたりまえ」ではないことに傷ついたり悩んだりしました。

でも私は、「みんなちがうのだから、みんなちがっていい。」と思えるようになりました。それは、病院で受診したときに、両耳が聞こえない人に出会ったからです。私は片方の耳が聞こえることで、音を聞くことができます。耳が聞こえない人も堂々としていて、家族と楽しそうにしていたからです。

だから今は、自分の好きな習い事の空手も全力でがんばられています。そして私のように言われている人がいたら、「その人には、その人のよさがある。」

と言ってあげたいです。だからみなさんも、だれかに何か嫌なことを言われたときは、

「自分は自分。」

と思って前を向いてほしいです。そうすれば華やかになります。未来は自分で変えることができると思います。そういう人が増えることで、みんなが笑顔で生活できるのではないのでしょうか。

「みんなちがっていい。」

それが広がるのが「差別のない未来」につながると考えています。そして、誰もが安心して自由に過ごせるようになればいいなと思います。

水を求めて

幸せを求めて

「龍をあむ」から

原作・脚本：吉田昌史 総合演出：北原雅樹

古来、いなみ野は水が乏しく、水稻耕作に不向きな土地でした。それが現在の「稲の美しい町」に変貌できたのはなぜでしょう？

3月に、稲美町の疏水の歴史について史実を元にした「龍をあむ」というミュージカルがありました。ミュージカルに取り組んだのは、大半が稲美町民でした。その原動力は、まさに「稲美町の疏水の歴史を広く知ってほしい」という思いからでした。そこで今一度、稲美町の疏水の話ミュージカルに沿って紹介し、自らの手で村と生活を守りぬいた先人の努力を顕彰したいと思います。

1 水争い

水に恵まれず、作物の育ちにくい乾いた赤い台地。人々は生活苦にあえぎ、水をめぐって時には争いながらも互いに力を合わせ、水への想いを紡いできました。1771(天明8)年には、明石藩東村の某が、遠くの川から神出に水を引くために、測量図を記しました。



それから100年余りの時が流れ、時代は明治。野寺村戸長(村長)、魚住完治が登場します。

2 魚住完治の夢



完治は語ります。「わしがなんて、『水を引いてこよう』言うとか…それは、いなみ野に水がないから。水のあるだけしか作物は育てられんからな。特に水のぎょうさんいる米なんかはほとんど育てられへん。ないもんは、あるところから引っ張ってくるしかない。遠く遠く水のぎょうさん流れとうところから、もろてくるんや。これが『疏水』や。100年以上前から、何人もが思いつき測量を繰り返してきたんや。その全てのもんがわしと同じことを言うてる。」・・・「水は引ける。必ず引けるんや」

挿入歌『I have a dream』 作曲:福田祐子



♪ I have a dream ♪
♪ 夢で何が悪いか 何度でも言ってやろう
出来ないと思うのは 誰もしたことがないだけさ♪
あまたの難所が待っていても
それは後から考えよう♪

完治から夢をもらった子どもも大人も一緒に歌います

3 三重の苦しみ



重くのしかかる税

明治になり、いなみ野の人々には三つの困ったことがありました。一つ目は、外国から安い綿が輸入され、綿が売れなくなったこと。二つ目は、何年も日照りが続き、食べるものがなくなってしまふほどの苦しい生活だったこと。三つ目は『地租改正』による重い税金でした。

特にこの『地租改正』により、農民たちは重税を払えず生活はさらに苦境に追い込まれていきました。

1878年(明治11)末に納付すべき納税額と旧税との倍率(母里地区3か村の田・畑・宅地の合計)

大字名	旧税	明治9年分追徴	明治10年分追徴	明治11年分追徴	3年分合計	旧税に対する追徴の倍率
印南新村	744円	1,813円	1,387円	2,131円	5,331円	7.17倍
蛸草新村	292円	1,156円	915円	1,207円	3,278円	11.23倍
野寺村	378円	869円	661円	1,039円	2,569円	6.80倍

参考資料：稲美町史

4 決死の嘆願書

そこで、印南新村戸長、丸尾茂平次は、「税金が高過ぎます。畑を売っても払いきれません。調べ直してください。」という内容の嘆願書を書き、仲間と共に県に行きます。

県の役人は、「馬鹿もんが。二言目には『税が重い、払えない』こんなものは貴様らの愚痴にすぎん。怠けているだけだ。」と、とりあってくれません。



丸尾茂平次の覚悟

丸尾茂平次のご子孫さんが、偶然、嘆願書を出した場面の練習を見学されたことがありました。ご子孫さんは、「代々、家に伝わっている話によると、『嘆願書を出す前に、家族と水杯を交わした』と聞いていたのを思い出した。私の先祖は自分の命をかけて、死を覚悟して嘆願書を出した。今あらためて、先祖はがんばったと思った。」とおっしゃいました。

その頃、国が新しくぶどう園を作るための土地を探していました。国が印南新村の土地を買い取ってくれることになったのですが、国の買い取り価格があまりにも安くて、村の人々は納得しません。

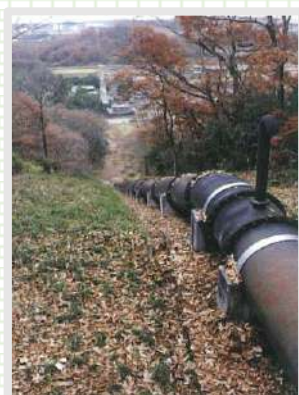


北條直正
「淡河川・山田川疏水百年史」

5 北條直正郡長のまごころ

国は「一反六円」それに対して、村人は「一反六円五十銭」、村人は譲りません。金額がどうしても折り合わないのをみかねて、北條加古郡長が「足りない五十銭は私が払います」と申し出ます。そして合計三十町歩百五十円という大金を自ら出すことにしたのです。

こうして30ヘクタール余りの土地を国に売って、そのお金で税金を払うことができました。播州ぶどう園もできました。村人は、改めて県令に「疏水工事のお願い」を申し出ました。



御坂サイフォン
水土里ネット「淡河川・山田川疏水記録誌」

6 水がきたぞー！

周辺の村々と共に国や県から援助を受けて、1888(明治21)年いよいよ疏水工事が始まったのです。今の神戸市北区淡河川から、総延長26.3キロメートルの水路を築いていきます。途中、高低差約50メートルの谷を越えるため、最新工法で「御坂サイフォン」を建設し、志染川を渡るなど、数々の難工事を経て、3年4か月後の1891(明治24)年ようやく疏水は完成します。

ミュージカルは「水がきたぞー！」と大喜びする村人の姿で、幕を閉じます。



【写真等提供】
藤原美義、冠野順子、大住孝太郎

【主な参考文献】
いなみ野台地を潤す「水の路」
水をもとめて

7 続く苦難を乗り越えて

しかし、その翌年に大雨で疏水は大被害を受けます。その修理にあたり官費の補助を受け、2年後には「万世不易(完全無欠)」と言われる復旧工事を成しとげたのです。

それから28年後、水量を増やすため、今度は国費ではなくすべて民費(負債)で山田川疏水をつくり上げました。そのときの巨額の借金を1951(昭和26)年まで、親から子、子から孫へと代々払い続けたという歴史があります。

そのおかげで、「水の豊かな稲美町」の今があるのです。

か かん ぞう の ペー ジ (一部抜粋)

ミュージカルを観て

- ◇ 先人のご苦勞が見事に表現されていた。正真正銘の命の水と思え、感動した。
 - ◇ 稲美町に生まれて良かった。
 - ◇ 皆さんの稲美町への愛を感じました。私も稲美町を愛しています。
 - ◇ 先人の努力で今がある事を学び、知らなかったことが分かって良かった。
- 「広報いなみ6月号 ふれあい文芸短歌投稿」より
- ◇ 龍をあむ ミュージカルとう祝祭は 稲美の宝石 未来に伝えん

「龍をあむ」の舞台となった母里地域 母里小学校4年生に出前授業をしました

- 国が「一反6円以上は、もう出せない。」と言ったときに、北條直正さんがもっとたくさんお金を自分で出してすごいなあと思いました。
- そ水を作るのにたくさんお金が必要で、村の人たちがみんなでお金を出し合って山田川そ水を作ったのが、とてもすごかったです。がんばったなあと思いました。
- そ水を作るには、こんなにも苦勞があったことが分かりました。私たちも、この「そ水の話」を未来につたえていきたいと思います。
- 稲美町が水不足だったことや、水を引くためにどれだけお金や時間がかかったかを聞いてとても感動しました。それを伝える取組みをつなげたいなあと思いました。
- 昔、水争いがあったこと、命をかけて丸尾茂平次さんがうったえたことを初めて知りました。昔の人がそ水を作ったから今、楽に生きているんだなあと思いました。
- 「アイ ハブ ア ドリーム」を歌って楽しかったです。



【真剣なまなざしで聞いてくれました】



【最後に「I have a dream」を全員で歌いました】

明るく働きやすい職場づくりをめざして 稲美町企業人権・同和教育協議会（企同協）



1977(昭和52)年5月、稲美町企業人権・同和教育協議会(企同協)は発足しました。当時企業内に残る差別体質に対し、教育委員会からの声かけで数社の有志が立ち上がりました。そして主体的に稲美町内55社に人権研修の必要性を呼びかけました。うち30社がその趣旨に賛同し、人権尊重をめざす企業の協議会が誕生しました。

現在31事業所が加盟して活動しています。今回は当初から中心的な役割を担っている2社を紹介します。

新関西衣料サービス株式会社

■ 所在地：六分一 1352-1

■ 職場のテーマ：品質マネジメントシステムの取り組みによる顧客満足の追求

■ 取組：稲美町で社員と共に歩んだ61年

1963(昭和38)年、稲美町で創業し、61年にわたりリネンサプライ業を続けさせていただいております。病院等に布団・枕・シーツ等の寝具類を又、食品工場等にユニフォームを洗濯付きで貸出しています。2011年、当時国内初となるユニフォームのICタグ付き管理を導入しました。また同年 ISO9001(品質マネジメントシステム)の初回認証を受け、以降顧客満足につながるよう、社員全員で取り組んでおります。

1986(昭和61)年、障害者雇用促進に係る労働大臣表彰を受け、現在でも法定雇用率 2.5%に対し、11.13%を確保しています。それから48年前、企同協初代会長として、差別を許さず人権尊重の精神を稲美町内企業に啓発していったことは、今も弊社の誇りとして受け継がれています。



日本マタイ株式会社 兵庫工場

■ 所在地：加古 1848-3

■ 職場のテーマ：働く者一人一人の価値を尊重し、安全で働きやすい環境づくりに努め、ゆとりと豊かさを実現する

■ 取組：素材価値向上による、豊かな未来の創出

高度な技術力、優れたパッケージング(包装)で社会に貢献

弊社は1965(昭和40)年、稲美町に兵庫工場を竣工し、以来重包装のパイオニアとしてパッケージングで産業界の発展と生活文化に貢献する、誇りと夢のある企業をめざしてきました。

私たちは、社会貢献・法令遵守・社員満足・環境保全を掲げて、地域の皆様により認知され貢献すべく、従業員一同日々切磋琢磨しております。また稲美町企同協発足以来の会員として、人を大切にする職場づくりを一貫して続けてきました。働く者の安心と企業の発展は一体と考えております。



ひとりで悩まないで 相談できる場所があります

内容	相談先	電話等	相談時間等
人権全般	法務省 インターネット人権相談	インターネット受付 http://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken113.html	24時間受付 法務局から後日メールで回答
	法務省 みんなの人権110番	TEL 0570-003-110(全国共通ダイヤル)	平日 8:30~17:15(年末年始を除く)
	神戸地方法務局 加古川支局常設相談所	TEL 079-424-7435	平日 8:30~17:15(年末年始を除く)
	稲美町地域福祉課 西部隣保館	TEL 079-492-3119	平日 9:00~17:00(年末年始を除く)
子ども	法務省 子ども人権110番	TEL 0120-007-110(フリーダイヤル)	平日 8:30~17:15(年末年始を除く)
	ひょうごっ子悩み相談センター <いじめ・体罰・子ども安全> 相談24時間ホットライン	なやみいおう TEL 0120-0-78310(通話無料、携帯電話可) TEL 0120-781-111(相談予約)	365日・24時間 平日 9:00~17:00(年末年始を除く)
	児童虐待防止24時間ホットライン (児童相談所全国共通ダイヤル)	いちばやく TEL 189(地域の児童相談所につながる)	24時間
	兵庫県中央子ども家庭センター 児童虐待防止24時間ホットライン	TEL 078-921-9119	24時間
	稲美町子ども課	TEL 079-492-9155	平日 8:30~17:15(年末年始を除く)
	いなみっ子悩み相談 稲美町教育委員会教育課	TEL 079-492-9149	平日 8:30~17:15(年末年始を除く)
女性	兵庫県ヤングケアラー・若者ケアラー 相談窓口	TEL 078-894-3989	平日9:30~16:30(年末年始は除く)
	女性の人権ホットライン (最寄りの法務局)	TEL 0570-070-810	平日 8:30~17:15(年末年始を除く)
被害的	兵庫県立女性家庭センター (配偶者暴力相談支援センター)	TEL 078-732-7700	9:00~21:00(土日・祝日も可)
	ひょうご被害ケアセンター 「よりそい」	TEL 078-367-7874	平日9:00~17:00 夜間休日は対応センターに自動転送
障がいのある人	兵庫県 障害者差別解消相談センター	TEL 078-362-3356 FAX 078-362-3911	平日10:00~12:00 13:00~16:00 (年末年始を除く)
	障害者ほっとライン (兵庫県身体障害者福祉協会)	TEL 078-230-9545 FAX 078-230-9553	平日 9:00~16:30(年末年始を除く)
	稲美町障がい者 基幹相談支援センター	TEL 079-492-5577 FAX 079-492-6160	平日 8:30~17:15(年末年始を除く)
外国人 Foreigner	法務省 外国語人権相談ダイヤル Ministry of Justice Foreign-Language Human Rights Hotline	TEL 0570-090911 対応言語はホームページで確認 Check the website for supported languages	平日(Weekdays) 9:00~17:00 (年末年始を除く) (Closed on public holidays and December28th through January3rd)
	ひょうご多文化共生 総合相談センター Hyogo Multicultural Counseling Center	TEL 078-382-2052 FAX 078-382-2012 対応言語はホームページで確認 Check the website for supported languages	平日(Weekdays) 9:00~17:00 (年末年始を除く) (Closed on public holidays and December28th through January3rd)
性的 少数者	兵庫県LGBTQ電話相談	TEL 050-3637-7521	土曜日 18:00~21:00 (年末年始を除く)
いのちの こころ	よりそいホットライン (一社)社会的包摂サポートセンター	TEL 0120-279-338(通話無料、携帯電話可) FAX 0120-773-776	24時間受付
	兵庫県 いのちと心のサポートダイヤル	TEL 078-382-3566	平日18:00~翌日8:30 土・日・祝日24時間
	はりまいのちの電話 (社福)はりまいのちの電話	TEL 079-222-4343 つながらないときは TEL 0570-783-556	10:00~翌日1:00(年中無休)

※情報はそれぞれのホームページ等から転載しています。

企同協に加盟しませんか。【お問合せ先】稲美町教育委員会人権教育課 電話 079-492-2550



2024(令和6)年度「こころあったか(人権)ポスター」優秀作品
天満南小学校2年 ^{くまがい} ^{あつと} 熊谷 篤人さん

編集委員 中谷 和枝 金岡 麻美子 西村 裕之

事務局 瀧口 泰広 大山 健次

2025(令和7)年2月発行

発行元 稲美町教育委員会人権教育課
兵庫県加古郡稲美町国岡 1-1
電話 079-492-2550

この冊子についてのご意見・感想をお聞かせください。
右のQRコードを読み取り、簡単なアンケートにお答え
いただきますよう、お願いします。

アンケートはこちらから▼

